



2021年に発足し、今年4月、大山を望む米子市岡成の古民家に拠点施設の子育て学習センター「コーセリ」を開設した。コーセリは「自然流」を意味するノルウェー語。自然豊かな環境で、子育てに不安や戸惑いを感じる親たちと専門家をつないだ学びの場を提供している。

米子市出身の経済学者・宇沢弘文氏の経済思想を学ぶ「よなご宇沢会」の若手メンバーらが中心となって、commons(共有財)の再生を目指す旧家の古民家改修に取り組んだのが発端。「親子で一緒に遊び、学び、育つ場を作ろう」とプロジェクトを立ち上げた。

メンバーや有志が2年をか

## 親子で遊び、学び、育つ

■81 □

一般社団法人「コーセリプロジェクト」(米子市)

けDIYで整備した古民家の学習センターには、ゆったりとくつろげるフローリングと畳の部屋やカフェスペースが整い、絵本や育児に関する書籍、木製玩具などが用意されている。中庭には菜園や遊具もあり、利用案内のデジタルサイネージも導入する。



古民家を改修した学習支援センターで子育て相談に応じる藤原理事長(右上)

センターの運営には、薬剤師、公認心理士、ベンチャー起業家などがボランティアで関わる。個人や子育てサークルなどのサロンの利用(有料)のほか、育児・不登校相談、幼児食講座など子育てに関わる人を対象とした講座やイベントなどを開催。鳥取大とも連携する。

藤原聡司理事長(46)は「0歳児から引きこもりの大人まで、子育てに関して継続的なサポートができる施設を目指している。行政ではできない、もう一步、踏み込んだお世話をするような役割を担いたい。まずは一度来てみてほしい」と話す。

鳥取県がふるさと納税の仕事組を活用して地域づくり団体を応援する「ギフ鳥」の寄付対象団体に登録され、今後の展開が期待されている。